

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う

山科教会の対応について

新型コロナウイルス感染症が5類感染症となり、インフルエンザ並みの疾病になったことから、これまでのコロナ対策について内容を見直しました。

1. これまでの対策を緩和するもの

- ① マスクの着用は、聖堂、伝道館を含め個人の判断に委ねます。
- ② 座席の着席制限(前後左右の間隔)は廃止します。
- ③ 聖歌の歌唱は制限しません。但し、歌唱時のマスク着用を推奨します。
- ④ ミサ終了後、座席やテーブルの除菌清掃は行いません。
※除菌シートは設置しておきますので、必要な方はご使用ください。

2. これまでの対策を継続するもの

- ① 聖堂入口に聖水は置きません。
※備付けの消毒液で各自手指の消毒・除菌を行ってください。
- ② 奉納は行いません。
※献金籠は皆様にお回しします(週日ミサ、集会祭儀を除く)。
- ③ 聖体拝領は、無言で、手でいただいでください。
※聖体拝領前の手指の消毒・除菌は必要ありません。¹⁾
- ④ 聖堂及び伝道館使用時は、適切な換気を行ってください。

3. 実施

2023 年6月1日から実施します。

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行はしましたが、新規感染者の新たな集計方法である「定点把握」のデータでは、5/15～21 の1医療機関当たりの感染者数の平均値が京都府では2.96人(前週に比べ0.93人増)となっています。

今後も、増減を繰り返しながら推移するものと予想され、爆発的な流行(パンデミック)を発生させないためにも、引き続き皆様お一人お一人のご注意とご配慮が必要です。

以上

2023 年 5 月 26 日
カトリック山科教会 評議会

1) 教区の決定により追記(2023 年 6 月 2 日)